

全国大会出場記「皆様のご厚情に感謝します！」

12月23日(木)13時50分の新幹線「のぞみ」で京都へ向けて出発。到着後直ちに西院横のリノホテル京都に入り、40分～60分のjogの予定であったが、初出場の不安からここで第一の失敗があった。宿舎周辺のjogにすべきであったものを選者各自がコースでの下見を兼ねたjogを希望したので安易にそれを許してしまった。最も遠く寒い地点になる3区沼田は11月の下見のときに道を間違え、4区高柴は大学入試のため下見が出来なかったことも不安の一因であった。戻って夕食を開始できたのが8時過ぎになってしまい、体を冷やして帰ってきた沼田は夕食後下痢が始まった。

12月24日(金)選手は朝6時に集合。選手以外は既に練習に出かけていた。7時からのバイキング形式の朝食を終えて午前10時から各自コース下見jog。昼前に富岡トレーナーが合流。昼食前に沼田、齋藤から腹痛の訴えがあった。特に沼田は下痢が止まらずjog途中で3回立ち止まり出場も不安な状況になった。トレーナーと相談して対策を検討。夕方からマッサージ治療をして頂き、夜、監督部屋でお灸を繰り返した。夜はロマンチックにホテルの最上階の中華バイキングで今年のクリスマスイブを過ごすことになった。男子部員15人と隣には小寺先生。最高の幸せである。

12月25日(土)選手は朝6時に集合。沼田の下痢はまだ不安が残るので、午前中もう一度お灸をした。9時30分に横断幕と幟旗の抽選にマネジャーと一年生が行き、6番目のくじを引いた。旗をはるのも競争だ。選手は競技場で各自1000mの前日の刺激練習。どうやら沼田の腹痛も治まり、1.3.4区のポイント区間は予定通り走れそう。齋藤、苦米地は走り込み不足の不安もあり2区5区にして、元気の良い伊藤、木戸浦を6区7区の5K区間に決定して、最終オーダー提出。京都光華女子学院講堂での監督会議に出席。窪田正吉先生と小寺研先生に同席していただいた。開会式会場の京都市体育館に移動して、選手と合流して代表旗を慌てて準備して小体育館に移動。普段から式典が苦手なサボリ続けてきたせいで、監督も一緒に行進することを知って、心の中で少し動揺した。行進にも各チームの特色が出ていて、強いチームは行進から堂々ときちんとしていて感心した。特に女子の優勝チームの行進は手も膝も高々とあげて、統一もとれていて圧倒された。形式はともかく堂々とした爽やかな行進を心がけたい。小島コーチも合流し、宿舎に戻り、鍋を主体にしたうどんやおじやで翌日の炭水化物を蓄えた。

12月26日(日)選手は朝6時に集合。いよいよ大会当日。小寺先生と江川は窪田先生と打ち合わせて早々と応援バスで駆けつけてくださった皆さんの出迎えと打ち合わせに出発。区間ごとに選手紹介の後、輸送バスで移動し、記録用チップが渡される。初めてつけるもので選手は重く感じるようだ。空いているバックスタンドに陣地を確保した。本校の教職員や父母・OB・後援会・同窓会・関係者・ライバルチームの拓大一高・正則学園の選手諸君初め、多くの皆さんが立ち寄って声を掛けて下さり、感動を頂いた。ラグビー部監督の神尾先生がご自分の大切な会議の前にわざわざ寄って激励して下さっているようだ。校長・学園の常務理事・事務長・元PTA会長の皆様も来て頂いているのにご挨拶も出来ないのが気がかかったが、選手を送り出した後、競技中、監督は競技場内の控え室で待機するのが原則らしい。今回は初出場なので大人しく原則に従った。競技直前に神奈川の藤沢翔稜が走れなくなったという情報が入った。1区の選手がくる途中のタクシーの中で気分が悪くなり、何度かもどしてドクターストップがかかったらしい。急のことで補欠も間に合わず、病院に行ったためスタートラインにつけず棄権になってしまった。規約上、1区がスタートに着かないと2区以降の参加が認められないようだ。1区の57チームがスタートして川上は少し後方の位置取り。前日の監督会議でスタート順を引いたが、52番だったせいもある。3Km過ぎまでは集団の中にいたが徐々に遅れて、中継時には引いたくじと同じ順位だった。途中有力チームの佐賀白石の選手が足を引きずり出し、棄権が言い渡された。監督さんはトレーナーの富岡さんの日体大時代の親友だそうでたまたま控え室で私のすぐ隣に座っておられた。2日ずれていたら本校の初出場も棄権の憂き目に遭っていたかもしれない。2区齋藤は初の3K区間ということもあって最初に突っ込みすぎて最後は順位を一つ落とす区間最下位の不本意な走り。3区沼田に。腹痛の心配も消えて区間40位の無難な走り。4区高柴に。現チームで最も安定感のある区間30位の走り。追いつきムードに切り替えて、5区苦米地に同じく区間41位の無難な走り。6区伊藤に。区間48位のまぎれぬ走り。アンカー木戸浦に。区間52位の走り。最終順位47位でゴール。レース後、集合場所に戻る途中、加藤正人先生ご夫妻に出会う。まさに劇的な出会いだ。その後多くの教職員・父母・OBが集まってくれたが、選手の戻りに時間がかかり、帰りの時間が迫っていて、ご挨拶も出来ずに失礼してしまった。残ってくださったOB諸氏に代表で選手の挨拶を聞いてもらった。スタートラインに着き、ゴールに辿りつくことがこれほど有り難く大切に思えたことはない。京都まで来ていただいたり、テレビの前で応援して下さった皆さんに頂いたご恩に心から感謝したい。

夕食後、応援バスで来ていただいた皆さんに監督、小寺副顧問、3年生全員で集合場所までお礼に行き見送った。行きは福島先生・干場先生・長嶺先生、帰りは福島先生と窪田先生に引率をして頂いた。夜行の強行軍に敬意を払いたい。

12月27日(月)10時10分ののぞみで合流した25名の全部員と引率3名が無事京都駅を出発して12時30分過ぎに東京駅で解散。ここまで頑張ってきた3年生の引退式にもなった。